

駆け上がる炎

告げる

伊東 大室山山焼き

伊東市の大室山で9日、春の到来を告げる恒例の山焼き（大室山山焼保存会主催）が行われた。たいまつたいまつの炎が山肌を勢いきよく駆け上がり、おわんを伏せたような標高580メートルの山体を豪快に焼き尽くした。

約700年の歴史がある伝統行事で、約700年の歴史がある伝統行事で、火口部を焼く「お鉢焼き」から行った。メインの「全山焼き」は正午と

同時に、麓に陣取った一般参加者がたいまつを使って一斉に点火した。「パチパチ」と音を立てて燃え広がり、20分ほどで黒焦げの山容に一変した。

国指定天然記念物の大室山は伊豆半島最大の単性火山。良質なかやの生育促進と害虫駆除を目的に山焼きの継承を続けている。好天に恵まれ、予定通りに初日開催できたのは4年ぶ



り。伊東観光の風物詩として定着している壮大な光景を国内外の観光客が見守った。

(2025年2月11日付)

【上の記事を読んで次の問いに答えましょう】

①写真で、煙が上がっている山の名前と、その山がどんな形をしているか書きましょう。

山の名前（
形（

②見出しの□にあてはまる季節を漢字1字で書きましょう。（

③この「山焼き」はどんな目的で行われていますか。（

④この「山焼き」を見守っている人たちの気持ちを想像して、30字以内で書きましょう（句読点を含みます）。

					5					10			15
					20					25			30

【学習のポイント】

※対象は小学校～中学校／生活、社会、理科、総合

その場で見ていることを想像しながら、他の地域には見られない「伝統行事」の特徴を読み取ろう。

＜解答例＞

- ①山の名前（大室山）
形（おわんを伏せたような形）
②春
③（例）良質なかやの生育促進と害虫駆除（の目的）。
④（例）たいまつたいまつの炎が山肌を勢よく駆け上がる様子は豪快だなあ。（28字）
山全体が黒焦げになる壮大な伝統行事の光景

にととても驚いた。（28字）
事故がなく、無事に終わって新しい季節を迎えられるといいな。（29字） など

＜解説＞

- ①見出しや写真の説明、本文などに何度も出てくるね。形は写真を参考に本文4～5行目から読み取ろう。
②本文1行目にあるね。

- ③本文15～16行目から読み取ろう。
④写真の様子を参考に、本文中から「豪快」「焼き尽くした」「勢よく」「パチパチ」「黒焦げ」「壮大」などのキーワードを見つけ、自分がその場にいることを想像しながら答えよう。

作問者は静岡新聞NIEコーディネーター・矢沢 和宏



もっとやってみよう！と思ったら、「静岡新聞NIEワークシート」を検索してね。